

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【公開番号】特開2010-259830(P2010-259830A)

【公開日】平成22年11月18日(2010.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-046

【出願番号】特願2010-166390(P2010-166390)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月23日(2012.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技用価値を用いて 1 ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、複数種類の識別情報を変動表示させる可変表示装置に表示結果が導出されることにより 1 ゲームが終了し、該可変表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能であるスロットマシンにおいて、

ゲーム毎に前記可変表示装置の表示結果が導出されるより前に、特定入賞表示結果、該特定入賞表示結果よりも遊技者にとって得られる利益が小さい非特定表示結果、及び前記賭数の設定に遊技用価値を用いることなく次のゲームを行うことが可能となる再遊技表示結果を含む複数種類の表示結果の導出を許容するか否かを決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて前記可変表示装置の表示結果を導出させる導出制御手段と、

通常遊技状態よりも該再遊技表示結果の導出を許容する旨を決定する確率を高くする再遊技高確率状態となる有利状態に遊技状態を制御する有利状態制御手段とを備え、

前記事前決定手段は、前記特定入賞表示結果の導出を許容する旨を決定するときには、前記非特定表示結果の導出を許容する旨も同時に決定し、

前記有利状態制御手段は、

前記可変表示装置の表示結果として所定の表示態様が導出されたときに、前記有利状態のうちの第 1 有利状態に遊技状態を制御する第 1 有利状態制御手段と、

前記第 1 有利状態において前記非特定表示結果が導出されたときに、該第 1 有利状態を終了させて、前記有利状態のうちの第 2 有利状態に遊技状態を制御する第 2 有利状態制御手段とを含む

ことを特徴とするスロットマシン。

【請求項 2】

前記可変表示装置は、各々が識別可能な複数種類の識別情報が配置された表示帯をステップモータの駆動により回動させることで変動表示可能な複数の可変表示部のそれぞれに表示結果を導出させることが可能なものであり、

前記複数の可変表示部にそれぞれ対応して設けられ、対応する可変表示部において表示結果を導出させる際にそれぞれ操作される複数の停止操作手段をさらに備え、

前記導出制御手段は、

前記複数の可変表示部の少なくとも１つに表示結果が導出され、且つ他の可変表示部に表示結果が導出されていない状況において、未だ表示結果が導出されていない可変表示部について、該可変表示部に対応する停止操作手段が操作された時点の前記ステップングモータのステップ数に対して導出される表示結果を一意的に特定する複数の制御パターンから、前記事前決定手段の決定結果及び既に表示結果が導出された可変表示部において対応する停止操作手段が操作されたときのステップ数に対応する制御パターンを一意的に特定する制御パターン選択手段を含み、

未だ表示結果が導出されていない可変表示部に対応する停止操作手段が操作されたときに、前記制御パターン選択手段により該可変表示部について選択された制御パターンが該停止操作手段の操作時点のステップ数に対して一意的に特定する表示結果を、該可変表示部における表示結果として導出させる

ことを特徴とする請求項１に記載のスロットマシン。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

上記目的を達成するため、本発明にかかるスロットマシンは、

遊技用価値（メダル）を用いて１ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームを開始させることが可能となり、複数種類の識別情報を変動表示させる可変表示装置（可変表示装置２）に表示結果が導出されることにより１ゲームが終了し、該可変表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能であるスロットマシンにおいて、

ゲーム毎に前記可変表示装置の表示結果が導出されるより前に、特定入賞表示結果（レギュラーボーナス、ビッグボーナス（１）、ビッグボーナス（２）、スイカ）、該特定入賞表示結果よりも遊技者にとって得られる利益が小さい非特定表示結果（チャンス目）、及び前記賭数の設定に遊技用価値を用いることなく次のゲームを行うことが可能となる再遊技表示結果（リプレイ）を含む複数種類の表示結果の導出を許容するか否かを決定する事前決定手段（ステップＳ４０３）と、

前記事前決定手段の決定結果に応じて前記可変表示装置の表示結果を導出させる導出制御手段（ステップＳ４０４）と、

通常遊技状態よりも該再遊技表示結果の導出を許容する旨を決定する確率を高くする再遊技高確率状態となる有利状態（ＲＴ）に遊技状態を制御する有利状態制御手段（ステップＳ８１５、Ｓ９１６）とを備え、

前記事前決定手段は、前記特定入賞表示結果の導出を許容する旨を決定するときには、前記非特定表示結果の導出を許容する旨も同時に決定し、

前記有利状態制御手段は、

前記可変表示装置の表示結果として所定の表示態様が導出されたときに、前記有利状態のうちの第１有利状態（ロングＲＴ）に遊技状態を制御する第１有利状態制御手段（ステップＳ９０６）と、

前記第１有利状態において前記非特定表示結果が導出されたときに、該第１有利状態を終了させて、前記有利状態のうちの第２有利状態に遊技状態を制御する第２有利状態制御手段（ステップＳ８１５では、これまでのＲＴカウンタの値に関わらず、ＲＴカウンタの初期値として４をセット）とを含む

ことを特徴とする。

なお、前記第２有利状態は、前記有利状態のうちで所定ゲーム数（３ゲーム）の間だけ継続する短期有利状態（ショートＲＴ）とし、前記第１有利状態は、前記有利状態のうちで前記所定ゲーム数よりも長いゲーム数（１００ゲーム）の間だけ継続するとともに、終了までに遊技者の得られる利益が前記短期有利状態よりも大きい長期有利状態（ロングＲ

T)とするものとしてもよい。

また、前記識別情報の変動表示を停止させるために遊技者により操作される停止操作手段（停止ボタン１２Ｌ、１２Ｃ、１２Ｒ）をさらに備える場合において、

前記導出制御手段は、

前記停止操作手段が操作されたときに、該停止操作手段の操作手順と前記事前決定手段の決定結果とに応じて前記可変表示装置の表示結果を導出させるものであって、

前記特定入賞表示結果と前記非特定表示結果の導出を許容する旨が決定されているときにおいて前記停止操作手段が第一手順で操作されたときに該特定入賞表示結果を導出させる第一手順時導出手段（図２、図８、図９）と、

前記特定入賞表示結果と前記非特定表示結果の導出を許容する旨が決定されているときにおいて前記停止操作手段が前記第一手順とは異なる第二手順で操作されたときに該非特定表示結果を導出させる第二手順時導出手段（図２、図８、図９）とを含むものとしてもよい。

この場合において、上記スロットマシンは、

前記第１有利状態に制御されているゲームで前記事前決定手段により前記特定入賞表示結果と前記非特定表示結果の導出を許容する旨が決定されたときに、前記第二手順で前記停止操作手段を操作すると前記非特定表示結果が導出されることを遊技者に認識可能とする所定の情報（ＳＲＴ可能性報知）を報知する短期高確認識報知手段（ステップＳ１００７）をさらに備えるものとしてすることができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

上記スロットマシンでは、有利状態に制御されると遊技者が通常遊技状態よりも有利にゲームを進めることが可能となるが、この有利状態には、第２有利状態として所定ゲーム数の間だけ継続する短期有利状態と、第１有利状態としてこれよりも長いゲーム数の間だけ継続する長期有利状態とが適用できる。この場合、長期有利状態に制御されているときでも非特定表示結果が導出されると、短期有利状態に遊技状態が制御され、有利状態全体としてのゲーム数が少なくなってしまう場合がある。長期有利状態に制御されているときには、非特定表示結果を導出させない方が遊技者にとって有利なものとなる場合がある。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

ここで、非特定表示結果が可変表示装置の表示結果として導出されるのは、特定入賞表示結果と非特定表示結果の導出を許容する旨が決定されていて、且つ停止操作手段が第二手順で操作された場合だけである。また、長期有利状態で非特定表示結果の導出を許容する旨が決定されると、第二手順で停止操作手段を操作することで該非特定表示結果が導出される旨を示す所定の情報が報知されるので、どのような操作手順で停止操作手段を操作すればよいかを判断できる。これにより、長期有利状態の維持に対して遊技者の技術介入性が生じるとともに、遊技の戦略性も高まるので、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、前記高確認識報知手段は、前記第1有利状態に制御されているゲームで、該第1有利状態の残りゲーム数の間に得られる利益が前記第2有利状態において得られる利益よりも大きいことを条件として、前記所定の情報を報知するものとしてもよい。一方、前記高確認識手段は、前記第1有利状態に制御されているゲームで前記所定の情報を報知するものの、該第1有利状態の残りゲーム数の間に得られる利益が前記第2有利状態において得られる利益よりも小さいときには、その旨を示す情報も併せて報知するものとする事ができる。これらの場合には、非特定表示結果を導出させた方が本当は有利な筈であるのに、遊技者が第二手順で停止操作手順を操作しないで非特定表示結果をわざと外してしまうといったことがなくて済むようになる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記スロットマシンにおいて、

前記事前決定手段は、前記有利状態とは異なる遊技者にとって有利な特別遊技状態（レギュラーボーナス、ビッグボーナス）への移行を伴う特別表示結果（レギュラーボーナス、ビッグボーナス（1）、ビッグボーナス（2））と前記賭数の設定に遊技用価値を用いることなく次のゲームを行うことが可能となる再遊技表示結果（リプレイ）との導出を許容するか否かを決定してもよい。

この場合において、上記スロットマシンは、

前記特別表示結果の導出を許容する旨の決定に基づいて該特別表示結果が導出されるまで、該特別表示結果の導出を許容する旨の決定を持ち越させる特別決定持越手段（ステップS914）と、

前記可変表示装置の表示結果として前記特別表示結果が導出されたときに、前記特別遊技状態に遊技状態を制御する特別遊技状態制御手段（ステップS808、S810、S812）と、

前記特別表示結果の導出を許容する旨の決定に基づいて該特別表示結果が導出されなかった後、及び前記非特定表示結果が導出された後に所定の演出（連続演出）を実行する演出実行手段（ステップS1010）とをさらに備えるものとする事ができ、

前記導出制御手段は、前記特別表示結果の導出を許容する旨の決定が持ち越されている状態で前記再遊技表示結果の導出を許容する旨が決定されたときに該特別表示結果よりも該再遊技表示結果を優先して前記可変表示装置の表示結果として導出させる再遊技優先導出手段をさらに含むものとする事ができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

ここでは、特別表示結果の導出を許容する旨が決定された後と非特定表示結果が導出された後に所定の演出が実行される。すなわち、所定の演出が実行されたということは、特

別表示結果の導出を許容する旨が決定された可能性があるということであるので、この所定の演出によって遊技者に特別表示結果の導出を許容する旨が決定されていることに対する期待感を与えることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、非特定表示結果が導出された後に第2有利状態すなわち再遊技高確率状態に制御されている所定ゲーム数の間は、再遊技表示結果の導出を許容する旨が決定される確率が高くなり、特別表示結果の導出を許容する旨が決定されていても、これが導出される可能性が低くなる。第1有利状態で特別表示結果の導出を許容する旨が決定された後のゲームでも再遊技表示結果が導出されることが多くなる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

なお、前記特定入賞表示結果は、前記特別表示結果を含むものであっても、前記特別表示結果を含まないものであってもよい。また、前記特定入賞表示結果は、前記遊技用価値の付与を伴う小役表示結果（スイカ）を含むものとしてもよい。前記特定入賞表示結果が前記特別表示結果を含むものとした場合、前記特別表示結果の導出を許容する旨の決定に基づいて該特別表示結果が導出されなかったときには、該特別表示結果以外の表示結果として前記非特定表示結果が導出されたか否かに関わらずに前記所定の演出を実行するものとしても、該特別表示結果以外の表示結果として前記非特定表示結果が導出されたことを条件として前記所定の演出を実行するものとしてもよい。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

ここで、特定入賞表示結果に特別表示結果が含まれている場合には、特別表示結果の取りこぼしで非特定表示結果が導出されて第2有利状態に制御されることがある。このため、非特定表示結果の導出で特別表示結果の導出を許容する旨が決定されていることに対する期待感を遊技者に与えることができる。特定入賞表示結果に特別表示結果も小役表示結果も含まれている場合には、非特定表示結果が導出された場合には、それには特別表示結果の取りこぼしという可能性と小役表示結果の取りこぼしという可能性が考えられることとなるので、いずれかの導出を許容する旨が決定されていたという適度な期待感を遊技者に与えることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

さらに、特定入賞表示結果に特別表示結果（及び小役表示結果）が含まれている場合には、非特定表示結果を含む特別表示結果（および／または小役表示結果）の取りこぼしで

導出される表示結果に対して、単に特別表示結果の導出を許容する旨が決定されている可能性を遊技者に報知するだけの情報以外の役割が与えられるので、遊技性を高めることができるようになる。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

この場合において、上記スロットマシンは、

前記特別遊技状態（ビッグボーナス）に制御された後に所定の特別終了条件（4 6 5 枚を越える払い出し）が成立したときに、該特別遊技状態を終了させて、前記第 1 有利状態に遊技状態を制御する特別遊技状態終了手段（ステップ S 9 0 6）とをさらに備えるものとすることができる。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

特別遊技状態の終了後に制御される遊技状態を第 1 有利状態とすることで、特別遊技状態の終了した後に遊技者の所有する遊技用価値の減少を抑えつつ（場合によっては増加させつつ）次の特別遊技状態を迎えることができる場合が増えるので、遊技者の期待感を高めさせて、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

また、この場合において、上記スロットマシンにおいて、

前記識別情報の変動表示を停止させるために遊技者により操作される停止操作手段（停止ボタン 1 2 L、1 2 C、1 2 R）をさらに備え、

前記導出制御手段は、前記停止操作手段が操作されたときに、該停止操作手段の操作手順と前記事前決定手段の決定結果とに応じて前記可変表示装置の表示結果を導出させ、

前記事前決定手段は、

前記特別表示結果の導出を許容する旨を決定するときには、さらに該特別表示結果とも前記特定入賞表示結果とも前記非特定表示結果とも異なる第三表示結果の導出する旨を決定するとともに、

前記特定入賞表示結果と前記非特定表示結果の導出を許容する旨を決定するときには、さらに前記第三表示結果の導出を許容する旨も同時に決定し、

前記導出制御手段は、

前記特別表示結果と前記第三表示結果の導出を許容する旨が決定されているときにおいて、前記停止操作手段が特別手順で操作されたときに該特別表示結果を導出させるとともに、前記停止操作手段が該特別手順とは異なる非特別手順で操作されたときに該第三表示結果を導出させる特別許容時導出手段と、

前記特定入賞表示結果と前記非特定表示結果と前記第三表示結果の導出を許容する旨が決定されているときにおいて前記停止操作手段が前記第一手順とも前記第二手順とも異なる第三手順で操作されたときに該第三表示結果を導出させる第三手順時導出手段とをさらに含むものとすることができ、

この場合には、上記スロットマシンは、

前記第1有利状態に制御されているゲームで前記第三表示結果が導出されたときに、前記特別表示結果の導出を許容する旨が決定されているか否かを示す特別演出（チャンス演出）を実行する特別演出実行手段（ステップS1017）をさらに備えるものとしてすることができる。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

ここでは、特別表示結果を導出させて特別遊技状態に遊技状態を移行させることができなくても第三表示結果が導出されたときには、依然として特別表示結果の導出を許容する旨が決定されていることがあり得る。このような場合に行われる特別演出によって、特別表示結果の導出を許容する旨が決定されていることに対する期待感を改めて遊技者に与えることができるので、さらに遊技の興趣を向上させることができる。特定入賞表示結果の導出を許容する旨が決定されていたときでも第三表示結果が導出されたことによって、第1有利状態に遊技状態を維持することに対する遊技者の期待感も高めさせることができ、さらに遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

上記スロットマシンにおいて、

前記識別情報の変動表示を停止させるために遊技者により操作される停止操作手段（停止ボタン12L、12C、12R）をさらに備え、

前記導出制御手段は、前記停止操作手段が操作されたときに、該停止操作手段の操作手順と前記事前決定手段の決定結果とに応じて前記可変表示装置の表示結果を導出させ、

前記事前決定手段は、少なくとも前記特定入賞表示結果として所定数（9枚）の遊技用価値の付与を伴う小役表示結果（スイカ）の導出を許容するか否かを決定し、

前記短期高確認識報知手段は、通常遊技状態に制御されているゲームでも前記事前決定手段により前記特定入賞表示結果と前記非特定表示結果の導出を許容する旨が決定されたときに、前記第二手順で前記停止操作手段を操作すると前記非特定表示結果が導出されることを遊技者に認識可能とする所定の情報を報知してもよい。この場合において、上記スロットマシンは、

前記可変表示装置の表示結果として前記小役表示結果が導出されたときに前記所定数の遊技用価値により実行可能なゲーム数（3ゲーム）と前記所定ゲーム数との差が1未満（0）となる数の遊技用価値を遊技者に付与する遊技用価値付与手段（ステップS902）をさらに備えるものとしてすることができる。

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

この場合、短期高確認識報知手段から所定の情報が報知されたときに通常遊技状態であるか有利状態であるかが遊技者に判断できなくなる場合もある。通常遊技状態であった場合に非特定表示結果が導出されないように停止操作手段を操作すると、遊技者は、第2有

利状態による利益を喪失してしまうこととなる。もっとも、第一手順で停止操作手段を操作すれば小役表示結果を導出させることができ、これで付与される遊技用価値によって喪失した第2有利状態の利益を保全することができるので、遊技者にとって不利なものとなることはない。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

上記スロットマシンにおいて、

前記可変表示装置は、各々が識別可能な複数種類の識別情報が配置された表示帯（リール3L、3C、3R）をステッピングモータ（リールモータ3ML、3MC、3MR）の駆動により回動させることで変動表示可能な複数の可変表示部のそれぞれに表示結果を導出させることが可能なものであってもよい。この場合、上記スロットマシンは、
前記複数の可変表示部にそれぞれ対応して設けられ、対応する可変表示部において表示結果を導出させる際にそれぞれ操作される複数の停止操作手段（停止ボタン12L、12C、12R）をさらに備えるものとすることができる。